

## 地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護  
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護  
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成20年10月15日
事業所名	高齢者グループホーム小原安立
事業所番号	2376100174
記入者名	職名 介護員 氏名 宇都山 千鶴子
連絡先電話番号	0565-65-1080

# 自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

## 地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

## ○記入方法

### [取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

### [取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

### [取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

### [特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

## ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## ○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	高齢者グループホーム小原安立
(ユニット名)	うぐいす
所在地 (県・市町村名)	愛知県豊田市沢田町座内22番地
記入者名 (管理者)	宇都山 千鶴子
記入日	平成20年10月15日

(様式1)

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	・より具体化したサービスの目標を出勤時に確認している。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	・職員全員が理念について理解し、日々のケアの中で実践していけるよう日々確認しあっている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	○	・将来構想検討委員会や運営推進会議を通し、より浸透させたい。また新たに今年度より回想法に向けた取り組みを地域にアピールして行きたい。
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	・色々な人が気軽に立ち寄ってもらえるよう開放的なホームにして行きたい。 ・行事企画の中でも、お年寄りや子供にも声を掛け、楽しむ機会を設けて馴染んでいける様に行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	・入居者一人ひとりの気持ちや体調にあわせ、地域活動（道路掃除、交通事故ゼロの推進街頭活動）に勤めたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の意義と狙いについて、学びサービスの向上に努めている。</li> <li>・指摘された内容について、具体的な方策をたて改善して行く。</li> </ul>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を聴きサービスの向上に活かしたい。</li> </ul>
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も必要なケースに備え、勉強会などの機会を通し、職員の更なる理解を深めるようにしたい。</li> </ul>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も新聞、雑誌はもちろんのこと研修会に参加し、それをもとにグループホーム内で学ぶ機会を作り、周知徹底していきたい。</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
<b>4. 理念を実践するための体制</b>				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入所見学や利用契約時に契約書、重要事項説明書により説明を行っている。また契約解除についても、契約書の内容に基づき、利用者や家族と十分な話し合いの機会を設けて決定している。退去先についても、一緒に考え相談をしている。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・日々の生活の中で、聞き取ったものを話し合い、サービスの改善につなげている。 ・介護相談員を月に一度派遣して頂き、利用者の相談にのってもらっている。 ・意見箱を設置し、いつでも投書していただけるようにしている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・広報誌（うぐいす便り）を発行したり、面会時介護記録を見て頂き説明報告し、健康状態はその都度連絡相談を行い連携を図っている。 ・家族の来訪時に近況の報告は欠かさず行っている。		
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会時に家族とコミュニケーションを図り、意見・不満・苦情などを言ってもらえるように働きかけ、出された意見を受け止めサービスの向上に活かしている。		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・職員会議時や平日頃から職員に声掛けを行い、要望や意見を聞くとともに、早急に対応できるものは対応し、十分な時間が必要なものはその旨を伝えるなど聴く機会を設けている。	○	・今まで以上に職員の意見を反映させて行きたい。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	管理者を中心に、職員で話し合いを進め勤務調整を柔軟に対応できるよう努めている。	○	・必要に応じてボランティアの協力を受けるなどの体制を作って行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・異動は控える努力をしている。離職や新採用には、出来る限り利用者のダメージを防ぐよう統一したケアに心掛けている。 ・入替わりをスムーズにし、新職員が利用者に理解が得られるよう時間をかけて引き継ぎを実施している。	○	・職員が気持ちよく働ける様な職場作りを、引き続きして行きたい。
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・職員の質の確保向上に向け、内部、外部の研修会の場の提供があり育成に熱心に取り組んでいる。	○	・計画的な研修があり、介護の知識、職員育成等で理解を深め質の向上に向けた取り組みがされている。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・同業者との交流の機会がありサービスの向上に努めている。 ・グループホーム連絡協議会に参加し、他の同業者の訪問見学も快く受け入れ情報交換を行いながらサービスの質の向上を行っている。	○	・他施設見学の実施を行えるようにしたい。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・一人ひとりに相談の機会を設けるなど、耳を傾け助言している。 ・無理のない勤務表作成に心掛け、速やかに業務や勤務者の調整を行っている。	○	・希望に応じた有給の処理が出来るようになった。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・頻繁にホームへ足を運び利用者の様子や職員の話を聞き悩みや不安の相談を受けている。 ・職員が向上心を持って働くために、積極的な研修への参加を促している。 ・個人目標の遂行状況を把握している。	○	・職員一人ひとりが何でも話せる信頼できる関係作りに努めている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・入居前に見学に来ていただき、実際に見て頂き本人や関係者から事情を聴き情報を集めている。 ・入居前には、受け入れ体制を整え、職員には情報の共有を図り、不安を取り除くようにしている。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・ホームに来ていただき、安心して入居できるよう、見学相談や話しやすい雰囲気作りをしている。	○ 家族の立場に立って話を聴き、意見を受け止めながら関係を築いて行きたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・見学、相談時を通して、その時の支援を見極めながら本人の様子や変化を逃がさず、本人に必要な支援が出来るように努めている。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居前に情報の検討を全職員で十分に行い、できる限り本人と家族が見学を兼ねて施設に来て頂き、場所や入居者と馴染めるよう機会を設けている。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・職員は利用者一人ひとりの生活暦を理解し、農作業や食事作り等で、共に一緒に考えたり、知恵を教えてもらう事で支えあう関係作りをしている。	○ ・お互い協働しながら支え合い明るさのある生活が送れるよう心がけて行く。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況を面会時に報告したり、相談したい内容があれば、家族側の気持ちを確認しながら進めている。</li> <li>・面会や行事等に誘い、良い関係作りに努めている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会、行事の参加を増やしていきたい。</li> </ul>
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の状態をどんな小さい事でもこまめに報告、相談し本人と家族の思いがたつなぐような働きかけをしている</li> <li>・疎遠の方には利用者の生活状況を電話で報告し、面会を呼びかけている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うぐいす便りを発行し、一人ひとりの生活ぶりを写真等でお伝えしている。</li> </ul>
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみの小売店に出向き関係が切れないようにしている。</li> <li>・地域の行事などに外出の機会を設け、地域に暮らす知人などとの継続的な交流が出るよう努めている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事や買い物に外出し、馴染みの人との交流を深めている。</li> <li>・「～に行きたい」と言う本人の要望について本人の状況を考えながら家族と相談し実現して行きたい。</li> </ul>
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事やお茶の時間などに会話がスムーズに進むよう、職員も一緒にお茶を楽しみながら多くの会話を持つことで、利用者同士が旨く関わる等思いやりながら互いに助け合っている。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員が情報を共有し見守り、その場その場で友好的関係作りをしている。</li> </ul>
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・終了後もいつでも気軽に寄って下さるように伝えている。また相談などがあればいつでも対応している。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事などの参加の案内を出して行きたい。</li> </ul>



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
<b>1. 一人ひとりの把握</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・日々の関わりの中で今どうしたいのか、職員一人ひとりが本人や家族の思いが聴けるように関心を払い、言葉や表情などからも受け止められるよう心掛けている。また、介護計画の中にも思いを取り入れている。	○	・本人のその時々々の意向など、職員が共有し家族からの意向や希望など何でも話してもらえる関係作りをしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所時の情報提供において、生活歴や生活環境などについて聞き取り、知人など訪問時にも情報を収集し把握に努めている。	○	・家族や本人、友人などの話から少しずつ把握している。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・一人ひとりの生活リズムの中から、その人の一日の過ごし方や生活を感じ取り、その人の現状の把握に努めている。	○	・日々の様子を観察し、残存能力を生かして行きたい。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・本人や家族に日々の関わりの中で思いや意見を聞き介護計画に反映させるようにしている。また職員会議で利用者本意の介護計画を反映させるように努めている。	○	・本人や家族の要望を聞き自分らしく暮らせるように職員全体で随時意見交換している。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・介護計画は、三ヶ月ごとに見直しているが、その間状況変化が生じればその都度対応している。日々の様子を家族にも伝え、計画作りの参考としている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・介護記録様式に介護者の気づき、利用者の言動や行動を記録し総合的把握が出来るように努めている。個別に記載し介護記録に具体的に記録している。	○	・安定している利用者でも、小さな気づきを見落とさないようプランの変更をしていきたい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・医療連携体制を活かし、看護師による24時間連絡が可能である。家族は決められた面会時間以外でも利用者に会うことが出来る。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	・民生委員の方から、地区の行事への誘いを受けている。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	・訪問陶芸教室、理美容サービスも希望に応じて行っている。	○	他の地域資源を探したい。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・運営推進会議に参加して頂き、必要時意見を聞かせて頂いている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	○	<p>・医療体制については、契約時に説明し同意を得ている。</p>
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>・変化していく認知症状に対応しながら、現状を把握していきたい。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>・入居時に説明しているが、その都度確認や話し合いを持っている。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>・これまでの生活環境、支援内容、注意事項など必要な点について情報提供している。</p>	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>・利用者一人ひとりの誇りを尊重しプライバシーを損ねない支援を心掛け、対応が職員に浸透している。</p>	<p>○</p> <p>・個人情報の取り扱いについては、職員採用時に説明し、また日頃より常に再確認している。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>・利用者の表情を読み取り、ゆっくりわかりやすい言葉で話し、利用者自身で決定する場面を作るようにしている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・毎日の生活の中で、基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調やペースを大切にし、その場の状況に応じて配慮、個別性のある支援に努めている。</p>	<p>○</p> <p>・日々の行動、表情の把握に努めている。</p>
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>・基本的には個人の自由に任せ、清潔な服装を身につけているか、重ね着はしていないか寒暖の調整を支援し、希望があれば理美容など事業所で支援をしている。</p>	<p>○</p> <p>・外出、誕生日、行事などは特に身だしなみを整えている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>・利用者と職員でその日のメニューを考えている。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>・正月、誕生日や行事などを中心に、その都度話し合い出して行きたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>・菖蒲湯、ゆず湯等季節感を感じられるよう提供している。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<p>・体調にあわせ散歩、畑仕事など個々にあった活動の後には、休息したり臥床するよう配慮している。</p>
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	○	<p>・日課、ラッキョウ漬け、干し柿、園芸、畑など利用者の経験を活かし、歌ったり昔話をしながら楽しく出きるよう支援している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個人管理能力に応じて個人的に金銭管理を行っている利用者もいる。	○	・利用者自身がお金を使用できるよう支援していきたい。
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・その日の利用者の希望に合わせて近くの名水を汲みに行ったりドライブ、買い物など日常的に外出できるように個別の支援を行っている。 ・散歩、畑への収穫等の活動も体調に考慮しながら支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・地域行事や季節のイベント等外出の機会を設けている。	○	・家族と相談し短い時間でも家族と外出したり、家に帰れるよう働きかけたい。
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話機は設置され、手紙の投函も出来る環境である。 ・家族や大切な人に、自らが電話や手紙のやり取りが行えている。	○	・電話を掛けたいと言われた時は付き添い、電話を掛けて頂いている。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・家族、知人、友人など馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問できるようにしている。	○	・面会時間は定めているものの、仕事の帰りや時間のある時は何時でも来て頂けるよう柔軟に対応している。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束はしていない。	○	・ベットを低くしたり、ベットの足元には滑り止めマットを置き、又畳を利用したり工夫をしている。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>出入り口に鈴を付けるなど、鍵をかけない工夫を行う。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>夜間は何時でも対応できるよう、音の聞こえる所で休憩し、危険を回避できるようにしている。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	<p>・利用者の状況を考慮しながら対応している。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>・利用者の状況を考慮しながら対応している。万が一事故が発生した場合、事故報告書ヒヤリーハットを作成し、事故原因の把握と今後の予防対策について検討している。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>・全職員が応急手当が出来るように一回の救急救命講習会への参加にとどまらず自主的に何度でも挑戦してもらえるようにして行きたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>併設特養と共に消防署や防火管理者の指導の下に、避難訓練や通報訓練、消火器の使用方法などを職員と利用者が一緒に定期的な訓練に参加している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・利用者が安全な暮らしをしていくにも、危険も伴うこともあることもご家族に説明し、同意を得ている。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>			
73 ○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・午前午後のバイタル測定を実施し常に顔色（鼻、目、額、頬、肌）や様子に注意し、小さな気付きを見落とさないよう全職員に徹底している。	○	・わずかな「あれっ」と思った時点でそのままにせず報告するようにしている。
74 ○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・現在内服薬は、薬情にて職員が内容を把握し、誤薬防止のため一回ずつ準備している。利用者の状態に応じては、手渡し服薬を確認している。	○	・薬の処方や用量が変更されたり、本人の状態の変化が見られた時など詳細に記録し看護師との連携を図っていく。
75 ○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・主食に、こんにやく製粉を混ぜて炊いたり、牛乳、栄養サプリメント、を取り入れたりし、食材の工夫、散歩、体操など取り入れることで自然な排便が出るよう取り組んでいる。	○	・看護師や栄養士とも連携の中で、水分摂取量、運動、献立を見直し自然排便が出来る食材など工夫していく。
76 ○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・毎食後の歯磨きの声掛けを行い、又出来ない人は洗面所に誘導し見守り介助など食後の歯磨きを習慣付けている。	○	・なるべく自分で歯磨きが出来るように一人ひとりに応じた支援を行っている。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・一人ひとりの食事量や水分量を記録し、職員間で情報を共有している。食事量の少ない方には、総合栄養食を補給したり食事を促すよう声掛けの工夫をしている。 ・一人ひとりの状況に応じ、食材を刻んだり食べやすい工夫をし、お茶は（急須に用意）常時テーブルの上に置き自由に水分補給出来るようにしている。		



項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・併設の特養に感染予防対策委員会があり、定期的に会議を開催マニュアルに基づき全職員に周知徹底し、利用者は手洗い、うがいなど予防対策を行っている。	○	・インフルエンザ予防接種、やペーパータオルの使用、テーブル、ソファ、椅子手摺などの消毒や地域の感染情報に関して情報収集を行い予防対策に努めている。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・まな板、布巾等は毎日消毒し、衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。ホーム内の畑で収穫したものを使っている。	○	・冷蔵庫を過信せず点検を日々行い、賞味期限切れの物は始末している。 ・調理器具や台所の水周りの衛生を保つように努めている。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関庭先に花など植え、付近にベンチやプランターを置くなど工夫し、安全で開放的になっている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・食堂は自然の採光と程よい室温に調整され空気のよどみもなく、要所要所には観葉植物や季節の花が置かれ、壁には思い出の写真を貼り、利用者が心地よく過ごせるよう配慮している。	○	・フローアに四季折々の創作の飾り付けがしてある。 ・テーブルには季節の花を置き、季節感が感じられるように配慮している。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・談話室にはソファや畳コーナー（掘コタツ）があり、一人になったり気の合った利用者同士が話しをしたりするスペースがある。	○	・利用者が人の気配を感じながら自由に過ごせる空間がある。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	○	使い慣れた日用品や家具等を持ち込まれ、安心し て暮らせるよう環境を作っている。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	○	・定期的にエアコンや加湿器掃除を行っている。 空気の入替えやトイレの換気をして悪臭が出な ないようにしている。
換気、空調の設備があり、温度計と湿度計を設置し、様子を見て調整している。			
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	○	・建物の外周は緑に覆われ自然豊かな環境の下、 散歩に行き、途中山菜や野菜の収穫を行い、と ころどころにあるベンチで休めるようになって いる。

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一人ひとりの思いを大切に介護を実践し、ご本人やご家族が安心して頂けるよう取り組んでいます。今後は回想法の取り組みを目指し、介護予防としても位置づけていきたいと思っています。また、四季を通していろいろな行事や地域への参加も積極的に行い、地域に根ざしたグループホームを目指します。